

仕様一覧表

品番		FK-ADII	FK-ADIS
口数		54口座	
券サイズ		幅57.5×長さ30～90(mm) 5mm単位	
印刷方式		ドットライン感熱印刷方式	
券速度		30mm券にて約1.5秒以内	
本体機能	販売可能枚数管理	販売予定数に達すると、自動的に売切を表示	
	時間帯別売切設定	指定時間に達すると、自動的に売切を表示	
	誤購入精算	接客部のキースイッチにより、誤購入した券の精算払戻を行う	
	金銭出入金管理	投入硬貨、投入紙幣、払い出し硬貨、紙幣を計数管理	
	強制売切設定	接客部のキースイッチにて、指定口座毎に売切とする	
	強制販売中止	接客部のキースイッチにて、全口座を販売中止とする	
	回数券・まとめ買い機能	口座ごと設定した枚数分、口座選択ボタンを押すと発券	
	集計	日計、累計、時間帯別、グループ別、消費税額、出入金、売上金回収	
販売口座	まとめボタン・領収書機能	領収証ボタンの6口座固定を解除	
	設定方式	操作パネルによる設定／USBメモリーからの読込	
	メニュー登録数	最大200メニュー	
金銭関係装置	メニュー作成	専用アプリケーションでメニュー作成	
	硬貨装置	使用硬貨／10円、50円、100円、500円 最大投入枚数／10円30枚、50円30枚、100円30枚、500円8枚	
	紙幣装置	循環ビルバリ 使用紙幣／1,000円、2,000円、5,000円、10,000円	使用紙幣／1,000円、2,000円
	釣銭装置	ホッパーローディング式	
	金庫容量	紙幣：高額混合(約200枚) / 千円専用(約400枚) 硬貨：500円(700枚) / 100円・50円・10円(各1,000枚)	紙幣：約100枚(OPスタック 約250枚/約340枚) 硬貨：500円(700枚) / 100円・50円・10円(各1,000枚)
	最大投入金額	高額モード：99,990円 低額モード：36,640円 但し、投入パターンによる	11,140円 但し、投入パターンによる
外装	価格設定範囲	0円～99,990円(10円ステップ) ※0円設定時は無料券発行	0円～9,990円(10円ステップ) ※0円設定時は無料券発行
	投入金額表示	集合表示器に数値表示(6桁)	集合表示器に数値表示(5桁)
	売切・販売可能表示	各口座スイッチ毎／LEDによる表示	
接客用表示		¥、販売中止、つり銭切れ、千円、高額紙幣	
外形寸法		幅600×奥行き280×高さ1,570(mm)	
本体重量		約100kg(ロール紙・硬貨含まず)	約92kg(ロール紙・硬貨含まず)
電源		単相100V±10V 50/60Hz	
定格消費電力		40W	
設置条件		屋内 周囲温度／0～40℃ 相対湿度／35～80%	
安全装置		漏電遮断器 感度電流／15mA	
オプション・その他		大型ボタン対応・2ロールプリンタ・キッチンプリンタ・LAN対応(予定)	

- 製品の色調は印刷インキの都合上、実際とは異なる場合があります。
- 仕様の一部は改良のため予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

保守サービス

Fujitakaの安心保守パック

フルサポート契約で大きな安心!

年間もしくは複数年で契約を結んで頂くことにより、修理・点検を実施する安心サービスです。保守が必要な場合は、サービススタッフを優先的に派遣します。

365日の受付体制とコールバックでトラブルを迅速対応。

問題点を事前にチェックする定期点検を実施。(年1回)

万が一、高額部品が故障しても無償交換。

もちろん、作業費・出張費も不要。

※消耗品及び故意による破損・メニュー変更については、保守範囲外となります。

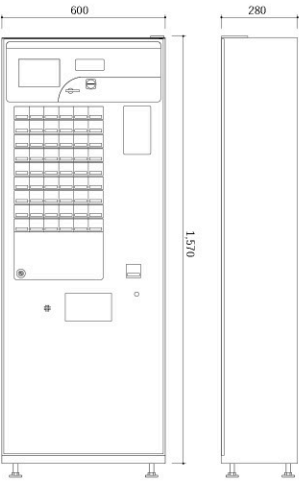
※販売後または生産終了後、7年を経過した機種は保守契約は致しかねます。

販売店もしくはFujitakaまで、お問い合わせ下さい。

作業費

出張費

部品代



安全に関するご注意

- ご使用の前に製品に添付してある「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- 製品の設置はお買上げ先へ依頼して下さい。設置に関してはJIS基準、業界自主基準、道路法、道路交通法、消防法、水道法、食品衛生法、電気事業法などの基準・規則に準拠した設置が必要です。
- 製品は製品重量に耐えられる場所でご使用下さい。
- アースは必ず接続して下さい。
- 製品の電源は単相100V±10V、電流容量15A以上の専用コンセントをご使用下さい。
- 延長コードの使用や、たこ足配線は、危険ですのでおやめ下さい。

安心してご使用いただくために

- 自動販売機の正面には必ず連絡先と管理者名を明記した自動販売機統一ステッカーをお貼り下さい。
- 定期的に点検いただき安全にご使用下さい。

管理者名
連絡先住所
連絡先電話番号

自動販売機統一ステッカー

■お問い合わせは



<お客様専用ダイヤル>

0120-533771 受付時間／平日9:00～18:00

本社／〒600-8216 京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7F
TEL.075-371-9900／FAX.075-371-9905
http://www.fujitaka.com/
営業・サービス全国ネットワーク

コストパフォーマンスに優れた券売機

FK-ADII series



54
セレクション

FK-ADIS
千円札対応タイプ

FK-ADII
高額紙幣タイプ

フジタカコーポレーション

http://www.fujitaka.com

FK-ADII series

多彩なシーンでニーズの高まる券売機。
その真価は優しさとともに——。

お客様のご要望にお応えし、徹底したローコスト化を実現。
Fujitakaオリジナル券売機FK-ADIIシリーズで、施設・店舗運営での最適な活用方法をご提案致します。

特長 お客様を迷わさない「一体型紙幣装置」を採用。

どこにお札を入れるの？お釣札はどこから出るの？
券売機に不慣れな方の声をもとに「一体型紙幣装置」を採用しました。

釣札が出る箇所は、払出し時以外はシャッターで閉じているので、誤ってお金を投入するトラブルや釣札の取り忘れも防止します。



高額紙幣
タイプのみ

還流式
ビルバリ

特長 紙幣投入口の高さが116cm 女性に優しい思いやり設計。

従来の廉価版券売機は、構造上どうしても紙幣の投入口が高くながちで、お金が入れにくいという声が多くありました。

FK-ADIIシリーズは基本設計の見直しにより、従来機より約25cm下げ、投入しやすい高さ116cmを実現しました。



特長 多彩なメニュー設定がもっと簡単になりました。

「設定変更が難しい」というお客様のご要望にお応えするため、簡単に設定できるよう設定ソフトを大幅に改善しました。

「新しいメニューを導入したい」「一日だけ価格を変更したい」といったフレキシブルな運営が実現できます。



しっかりとした金銭機構。

- お釣り補充を軽減する還流方式。(千円札紙幣)[※]
- 紙幣は全金種対応。(一万円札、五千円札、二千円札、千円札)[※]
- 硬貨が詰まると自動で検知。
- 硬貨が満杯になると自動で金庫へ納金。
- 簡単な操作で金庫へ納金。
- 売り上げた金額のみ回収可能。

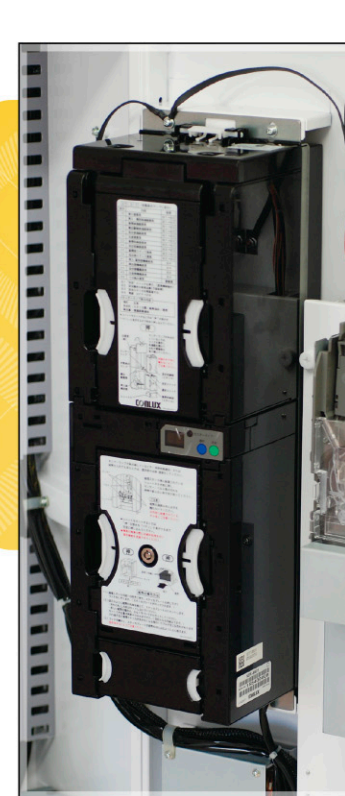
※高額紙幣タイプのみ

データの扱い易さ。

付属の専用ソフトで作成した販売メニューデータをUSBメモリーで券機本体への設定が可能です。集計データをCSV形式でUSBメモリーにダウンロードする事も可能です。
日計・累計データは前回の締め分に関して再出力(再印刷)する事が可能です。万一、日計・累計の出力用紙を紛失しても安心です。

安心のセキュリティ。

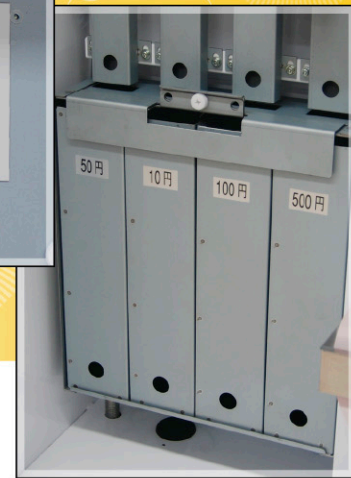
係員専用鍵を差し込む事で、お客様の誤購入の対応(返金や売上集計修正)、ボタンの売切設定、日計といった操作を扉を開けずに行う事が可能です。
また、各種金銭管理部分(紙幣払出装置・回収金庫)で別々の鍵をご用意しております。



▲操作パネル

▲高額紙幣対応ビルバリ

▼金額ごとの硬貨用金庫



▲コインホッパー

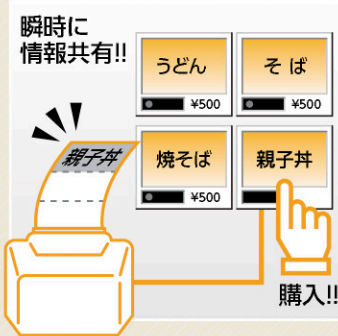
点字
シール
対応

「障害者差別解消法」に則り視力にハンディをお持ちの方にもご利用いただけますよう①返却、②硬貨入口、③紙幣出口、④紙幣入口、⑤おつり、⑥券硬貨出口に点字シールを貼っております。

多彩なシーンに対応する充実の発券機能!!

ゲートシステムや受付システムとの連動可能な「領収書発行」「QRコード券対応」の機能や、オープンキャンペーンやランチタイムなどに合わせた0円設定なども対応する「有効時間・有効期間印字機能」「無料券発行」の機能も搭載しています。

利便性・拡張性を飛躍させる、充実のオプション機能!! 現金を扱う様々な施設・店舗で幅広く対応可能です。



キッチンプリンタでサービスがスピーディーに!

お客様が券売機で券を購入されると、厨房や事務所に購入メニューがタイムリーにプリントアウトされます。
お客様を待たすことなく商品やサービスが提供できます。



大型押しボタンでおすすめメニューを訴求!

売りたいメニューを写真で強力にアピールできる大型押しボタンを、通常ボタン4個または2個から作成できます。
※大型押しボタン1個配置につき、通常ボタン4個または2個分を使用しますので、発券メニュー数も変わります。



併設にオススメ

複数台の導入を検討される場合、高額紙幣タイプの券売機「FK-ADII」と、千円札対応タイプ「FK-ADII S」との併用導入がオススメです。
機能的でデザインの統一感があり、コストを抑えた導入・運用が可能です。

